

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市民プラザ		
管理者担当課	(株)新潟ビルサービス	指定期間	2024年（令和6年）4月1日 ～ 2029年（令和11年）3月31日
所在地	中央区地域課		
根拠法令	中央区西堀通6番町866番地 NEXT21ビル6階		
施設概要	新潟市民プラザ条例		
	平成5年5月設置（NEXT21オープンと同時） 専有延床面積 1,584㎡ ホール（538㎡、最大客席数540）、ミニギャラリー（58㎡）、楽屋3室、控え室、事務室 【参考】NEXT21の施設概要 鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上21階、地下3階建、地下駐車場143台 敷地面積、建築面積、延床面積37,423㎡ 新潟市民プラザのほか、事務所、店舗、スポーツクラブ、銀行、派出所などで構成		

施 設 設 置 目 的
市民文化の向上及び地域の発展に資することを目的とする。
管 理 ・ 運 営 に 関 する 基 本 理 念 ， 方 針 等
安全・安心な施設運営と公平・平等な市民サービスの提供を基本とし、①市民文化向上に資するよう、各種文化イベント、講演会、展示会、学会、コンサート等の利用に供し、②地域の発展に資するよう、各種イベントの開催場所として、多くの来館者を集め、賑わいの創出に努めることを基本方針とします。

令和6年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	基準稼働率の達成	ホール72.2%以上/年 ミニギャラリー82.1%以上/年	ホール 72.2% ミニギャラリー 82.8%	B	
	主催者向けサービスでの満足度	各項目で「満足」以上が95%以上 (①職員の対応、②職員の技術力)	① 99.2% ② 100%	A	アンケートでも、親切丁寧かつスムーズな対応に感謝の声が多く、職員の対応を評価する。
	新規利用の開拓	新規利用35件以上/年(対前年度利用)	28件	C	新規利用の開拓のため、新たな営業活動の実施に期待する。
	広報の充実	ホームページアクセス件数47,200件以上/年	49,938件	A	facebookなどSNSを使った広報活動を評価する。
財 務	市の歳入の安定確保	使用料収入10,000,000円以上/年	12,350,712円	A	稼働率・商業利用の増加による目標比123.5%の達成を評価する。
業 務	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	常時、危機管理責任者を配置し、その指導のもと防災・避難訓練を年1回以上実施	合同防災訓練 管理組合(2回) 市民プラザ(1回)	B	
	PDCAマネジメントの実践	月次報告書で実践内容を市へ報告	各月報告書提出	B	
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	適正に遵守	B	
人 材	職員研修の実施	事務・技術職員とも外部・内部研修を行い、研修成果を確認し、市へ報告すること。	機会ある毎に参加	B	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	適正に遵守	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

稼働率、満足度、広報の充実、使用料収入の目標を達成、新規開拓件数が前年に引き続き未達成となってしまった。個別に見ると、稼働率はホール・ミニギャラリーで、1.1%と0.7%と微増となった。ホールに関しては下見などの時間も考慮する必要があるため、かなり高めの稼働率だと考える。使用料収入に関しては、総利用件数で、144件→149件、内、商業利用も52件→55件と増加したため、約2,746千円と大幅に目標を達成できた。広報の充実や満足度の結果から、これら稼働率や使用料収入につながっていると考え、引きつづき利用者への丁寧な説明や接客を心がけ、ホール利用の実績へとつなげられるように努めていく。新規開拓の件数が、未達成だったため、新しい営業活動の方法を検討することなどをおこない、達成できるようにしたい。業務項目・人材項目も毎年達成しているためこれを継続し、今後も新潟市民プラザの指定管理者としての適切な対応、安全な利用・施設管理をおこなう。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

一般・商業利用の件数が増加し、それに伴ってホールの稼働率や施設利用者数も上昇した結果、使用料収入は目標比123.5%を達成した。この点は、運営の成果として高く評価できる。一方で、新規利用者の開拓件数は、昨年度に引き続き目標に届かず、引き続きの課題といえる。利用者アンケートでは、職員による丁寧な説明や要望への技術的対応に対する感謝の声が多く、対応力の高さが評価されている。今後も、利用者目線に立った丁寧な対応を継続するとともに、SNS等を活用した広報・営業活動の強化を通じて、新規利用の開拓やホール利用実績のさらなる向上に努めていきたい。引き続き、施設利用者のニーズを踏まえた質の高い文化事業を提供し、地域の賑わい創出を推進するとともに、市民文化の向上と地域社会の発展に寄与することを期待する。